

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	鏡視下骨盤臓器脱手術症例における腹壁癒痕ヘルニア発症と腹壁筋膜コラーゲンI/III比の検討
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 産科婦人科学 松本 多圭夫
研究参加拒否 申込受付期間	2027年1月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31日
対象者	2020年1月～2026年3月までの間に、①当院産婦人科で鏡視下骨盤臓器脱（POP）手術を受けられた方、および50歳以上でPOP以外の鏡視下手術を受けられた方、②当院に腹壁筋膜の病理標本が保管されている女性の方
当該研究の意義・目的	POPの原因の一つとして、仙骨子宮靭帯や膈壁においてコラーゲンI型低下およびI/III比低下が報告され、組織リモデリング異常の関与が示唆されています。一方、腹壁癒痕ヘルニアでも腹直筋鞘や腹横筋膜においてI/III比低下が報告されていますが、両疾患の関連性については十分に検討されていません。本研究は、POP症例の腹壁筋膜におけるコラーゲンI/III比の検討を行い、POP症例の腹壁筋膜にコラーゲンリモデリング異常が存在することを明らかにすることで、鏡視下POP手術後の腹壁癒痕ヘルニア発症との関連性を証明することです。
方法および研究で 利用する試料・情報 の取得方法	本研究は、2020年1月～2026年3月までの間、鏡視下POP手術症例と50歳以上でPOP以外の鏡視下手術症例を後方視的に解析し、術後腹壁癒痕ヘルニア発症率を比較します。当院に腹壁筋膜の病理標本が保管されている女性の症例情報を収集し、年齢やPOPの有無などについて解析します。また、その腹壁筋膜の病理標本を用いて、コラーゲンI型およびIII型の免疫組織化学染色を行い、その発現をImageJにより定量化し、I/III比を算出します。POP症例群とPOPを認めない症例群におけるコラーゲンI/III比について、比較検討します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：病歴（POPの有無、腹壁癒痕ヘルニアの既往など）、年齢、カルテ番号など 試料：手術で摘出した腹壁筋膜 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後5年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情報 の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	<p>その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>金沢医科大学 産科婦人科学 松本 多圭夫</p> <p>住所：石川県河北郡内灘町大学1-1</p> <p style="text-align: right;">☎：(代表) 076-286-2211 内線 (23335)</p>

作成日：2026年3月12日